

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	認知症は症状の進行と共に、問題行動が出現する。やむを得ず、拘束を必要とする場合の対応。	・書類整備 ・家族の協力(話し合い)	・書類(身体拘束に関する説明書・同意書)の整備。 ・その都度、家族と話し合う	1か月
2	33	高齢と共に身体の衰えを止めることが出来ない。自然死を迎える過程で食餌の援助が困難となる。	穏やかな死へ向かう方向付けをあらゆる角度から問題提起して、安らかな死へつなげたい。	「平穏死」というタイトルの本を中心に職員全員で抄読会をしている。	2か月
3	46	夜間の休息、不安による睡眠障害、徘徊行動への対応と介護について。	事故、健康障害に陥らないように支援する。	1.出来るだけ薬に頼らない。 2.生活の場を工夫する。 3.行動範囲を拡大しない。	3か月
4	48	日課における楽しいひとときの工夫。	心から笑えて、満足できる時間空間を持ちたい。	年間を通して、内・外のレクリエーションを企画する。	12か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。